

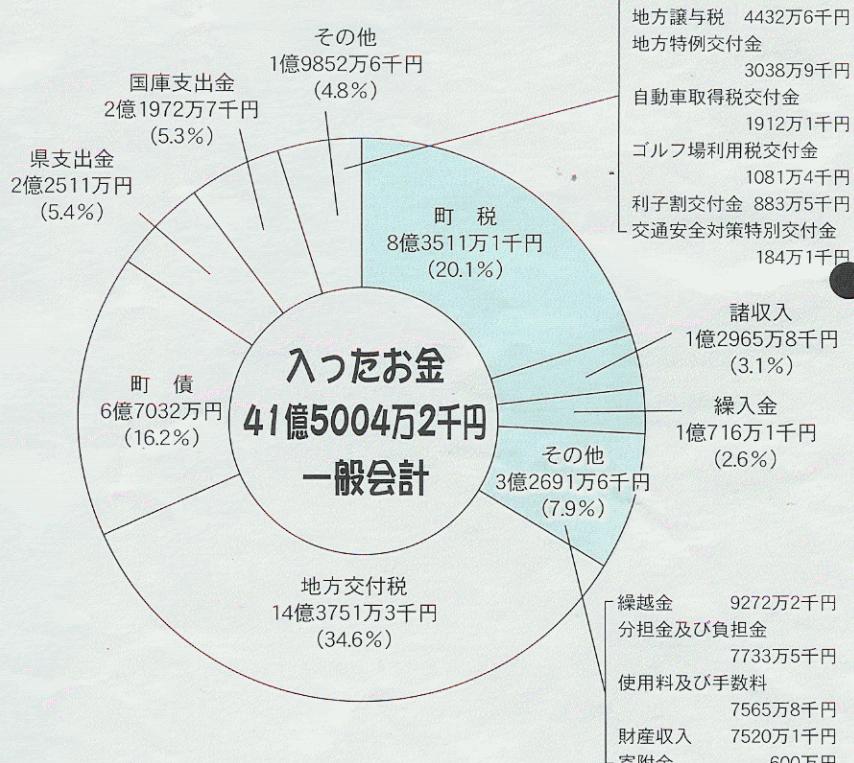
9月定例議会で、平成15年度の決算が承認されました。平成15年度の一般会計の決算規模は、歳入（入ったお金）41億5004万2千円、歳出（使ったお金）40億7783万4千円となりました。厳しい財政状況の中、老朽化した大和保育所の改築、国保・介護・老人保険等特別会計への繰出等の福祉対策をはじめ、建設的事業として国営大山山麓土地改良事業の精算による地元負担金の支払、単町道路改良工事、農林水産業振興策としては水田営農体制強化事業の推進、教育環境整備としては小学校30人学級の実施、中学校の下水道切替工事、ゆめ基金による青少年海外留学助成などを実施しました。主な使い道についてお知らせします。

財源として一番大きな割合を占める地方交付税は、普通交付税・特別交付税とともに減額となり、前年より1億2849万7千円（8.2%）の減額となりました。

町財政の運営に一番重要な町税は、固定資産税と町民税が合わせて1億円近くの大幅な減収となり、前年に比べて9904万3千円（10.6%）も減額となりました。

また、町の借金である町債は、町道西原佐陀線の完了による臨時地方道整備事業債及び道路整備事業債の減、住宅復興事業債などの減があるものの、臨時財政対策債、大和保育所施設整備事業債、土地改良事業債、消防施設事業債、減収補てん債などの増があり、全体では前年より2億5622万円（61.9%）の大幅な増額となりました。

その他、国からの国庫支出金や県からの県支出金は、大和保育所の改築や支援費支給制度導入による障害者保護費等負担金などで増額がありました。淀江稻吉道路改良事業や町道西原佐陀線の完了、震災住宅復興補助金や介護予防生活支援補助金の減額などにより、国庫支出金が前年より9597万3千円（30.4%）、県支出金が772万円（3.3%）の大幅な減額となりました。



自主財源 33.7%

依存財源 66.3%

歳入全体に占める町税などの自主財源の割合は33.7%で、前年と比べると0.6%の増額となりましたが、これは歳入財源確保のための減債基金、福祉基金などを大幅に取り崩したことによるものです。

★40億7千万円の主な使いみち★

◎民生費 10億1371万5千円

大和保育所改築工事	2億9300万3千円
身体障害者福祉事業	6350万5千円
在宅老人福祉事業	834万円
老人ホーム入所措置委託	2163万円
介護保険特別会計繰出金	8132万1千円
特別医療費助成	5052万円
保育所管理運営	1億9002万2千円

◎総務費 7億2677万8千円

町有財産管理	3256万7千円
鳥取情報ハイウェイ接続事業	275万1千円
国際交流事業	812万2千円
町長議会議員選挙	782万7千円
衆議院議員総選挙	721万3千円
巡回バスの運行委託費	1000万3千円
戸籍システム整備	724万1千円
交通安全対策	442万6千円
米子市・淀江町合併協議会負担金	1160万円

◎教育費 4億2985万1千円

小学校30人学級の実施	400万円
中学校下水道切替工事	1071万円
岩屋古墳保存修理	500万2千円
教育文化事業団管理委託	6132万3千円
人材育成事業	142万4千円
公民館活動の推進	385万1千円
青少年ゆめ基金活用事業	448万円

◎農林水産業費 3億7874万6千円

農業振興	3389万8千円
水田営農対策	1389万2千円
農免農道整備事業	643万4千円
地籍調査事業	1083万5千円
松くい虫対策	2395万7千円
水産振興	341万8千円
国営大山山麓土地改良事業	1億1354万5千円